

横浜市道志青少年野外活動センターキャンプ場の調整状況について

1 こども青少年・教育委員会（22年6月21日）

- (1) 道志青少年野外活動センターの今後の方向性について次のことを説明した。
 - ア キャンプ場は、23年度から廃止する方向で調整します。
 - イ スポーツ広場は、22・23年度に方向性を検討します。
- (2) 委員からの主な質問・意見
 - ・ 利用者が納得するような方向で検討を進めること。
 - ・ 施設廃止後の跡地利用、道志村との関係、利用状況、収支状況、民間キャンプ場への影響などを考慮して、慎重に検討を進めること。

2 事業評価会議（22年8月2日）

「野外活動施設等のあり方」（青少年野外活動センター含む）における、委員からの主な意見は次のとおりです。

- ・ 学校側に野外活動施設のさらなる利用を促すべき。
- ・ こども達が利用しやすい施設となるよう見直すべき。
- ・ ビジョンや理念を明確にし、野外活動施設等のあり方を議論し見直すべき。
- ・ 市外居住者に対する無料利用は見直すべき。

3 市民意見

- (1) 電話等による意見・要望件数 20件（22年12月8日現在）

主な意見は、「自然に恵まれた素晴らしいキャンプ場を残して欲しい。」
- (2) 要望書等の提出
 - ・ 9月7日 大口台小学校放課後キッズクラブより要望書提出
 - ・ 9月9日 南区青少年指導員協議会より要望書提出
 - ・ 11月10日 NPO法人横浜こどものひろば他より要望書と署名簿提出（11,806名）
 - ・ 11月26日 南区青少年指導員協議会より署名簿提出（9,875名）

4 市長視察

11月19日に現場を視察。

5 今後の対応

- (1) キャンプ場については、22年度中に廃止を含めて今後の方向性について調整を行ってまいりましたが、調整する中で様々なご意見をいただきましたので、改めて23年末まで検討を重ねることとします。（キャンプ場は23年度営業する予定）
- (2) 「横浜市事業評価会議」（22年8月開催）の結果を受け、野外活動施設等のあり方を含めて検討しており、当該施設の方向性もその中で整理します。